

小児看護学臨地実習

必修 開講年次：3年次後期 科目区分：実習 単 位：2単位 講義時間：90時間

■科目のねらい：小児看護の対象特性と看護ケアの特殊性を理解し、看護に必要な基本的知識、技術、態度を養う。

- ①子どもの成長・発達・保育について理解を深める。
- ②健康障害をもつ子どもと家族への生活支援について学ぶ。

■到達目標：①保育園実習を通して、子どもの健康生活、育児支援、ヘルスプロモーションやセイフティプロモーションの基礎知識をふまえた看護実践能力を行動化できる。

- ②①について、その効果を評価できる。
- ③病棟・外来実習を通して、疾患や障がいをもつ子どもと家族の看護、生活習慣の自立支援、健康教育や家族支援の基礎知識をふまえた看護実践能力を行動化できる。
- ④③について、その効果を評価できる。
- ⑤臨地実習を通して、対象者やチームメンバーとの効果的なコミュニケーション能力を向上させる。

■担当教員：【○は科目責任者】

◎上村 浩太・三上 智子・松浦 和代

■実習内容：

実習は、3か所（保育園、病棟、外来）で行う。

実習施設

保育園実習：公立保育園・子育て支援センター

病棟・外来実習：市立札幌病院・KKR札幌医療センター・天使病院・札幌医科大学附属病院

実習方法：下記の図に示すようなローテーションで実習を行う。

	第1週目					第2週目				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
A-1グループ 10数名	保育園 2~3人/施設			市立・外来 KKR・外来 天使・外来 札医・外来		市立・病棟 KKR・病棟 天使・病棟 札医・病棟				
A-2グループ 10数名	市立・病棟 KKR・病棟 天使・病棟 札医・病棟					保育園 2~3人/施設			市立・外来 KKR・外来 天使・外来 札医・外来	

実習内容：要項参照

■教科書：なし

■参考文献：小児看護学概論、小児看護援助論、小児看護技術論で使用した教科書および配布資料

■成績評価基準と方法：

評価方法	到達目標					評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④	到達目標⑤		
実習内容	◎	○	◎	○	◎	効果的なコミュニケーション能力、アセスメント能力、看護実践能力、安全への配慮	40
実習記録物	○	◎	○	◎	○	実習での学び、子どもの理解、アセスメントから実践・評価までの記録	30
実習態度	○	○	○	○	○	責任ある行動、主体的な学習	30
出席						2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：小児看護学概論、小児看護援助論、小児看護技術論

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：保育園・病棟・外来、それぞれの社会の中で、一人一人の子どもとその家族が生活している姿を感じとってきてほしいと思っています。子どもの目線の高さに大人のあなたが合わせ、遊び心をもってかわりながら、子どもたちから学んでください。実習時期は冬季であり、子どもたちと接するにはエネルギーが必要ですので、うがいと手洗いを的確に行い、体調管理しながら実習に臨むことを期待します。